

「よし笛」と「コカリナ」によるやすらぎのメロディーを……

歌のボランティアグループ・ほっとらいん



夫婦で地域に根ざした音楽活動を30年近く続けている近江八幡在住のグループ。その演奏の場はホールの中だけに留まらず、ヨシ刈りや様々な自然環境をテーマにしたイベント、琵琶湖のほとりから黒四ダムの展望台まで、要望に応じてどんなところへも精力的に出かけて行き、やすらぎの音楽を奏でている。

菊井了氏が創られたよし笛の素朴な音色に惚れ込み、よし笛とギターによるオリジナルCD「湖の詩シリーズ」を制作。これまでに6作品をリリースし、心を癒すBGMとして全国のファンに愛聴されている。

<http://www.i-honky.com/hotline/>



【よし笛】

1998年に琵琶湖の内湖・近江八幡の西の湖の"葦(よし)"を使って菊井了氏が考案・創作された、長さ24cm・重さ15gの非常に軽い縦笛です。小学校で習うリコーダーに似た運指のため、比較的簡単に演奏することができます。

素朴で柔らかな優しい音色が特徴で、琵琶湖を渡る風の歌声のようです。



【コカリナ】

ハンガリー生まれの民族楽器ですが、オカリナに似た音の出る木で出来た小さな笛ということから「コカリナ」と名付けられました。長さわずか8cmの小さな笛ですが、八長調のドから高音のしまで、1オクターブ以上の音階を出すことができます。

心にしみる澄み切った音色が特徴で、木立を抜けて山々にこだまする天使の歌声のようです。